



# クラシノソコアゲ応援団! RENGO キャンペーン 全道キャラバン通信

NO. 61 2018. 5. 28 発行責任者 連合北海道組織労働局

## 強行採決に抗議!!

働き方改革関連法案が強行採決により可決された5月25日、連合北海道は、緊急街頭集会を開催した。集会には産別組合員ら約160名が参加し、十分に審議を尽くさずに、強行採決を行ったことへの抗議と、高度プロフェSSIONAL制度(高プロ)の反対を訴えた

冒頭、出村会長は「強行採決は、言語道断であり、批判されるべき。」と述べ、質疑を打ち切り、採決を強行した政府に対して激しく抗議した。

「高プロは、残業代を支払う必要がなく働かせ放題であり、過労死を助長するような内容となっている。」「厚生労働委員会では、立憲民主党、国民民主党の対案をほとんど議論しないまま採決を強行した、言語道断である」と批判し、「実際の仕事の場では、時間や結果に追われているのが現状。命と健康を守る時間規制こそが、今一番必要である。」と述べ、働く者の立場にたった働き方改革の必要性を訴えた。

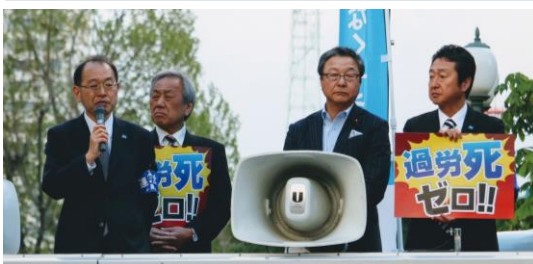
連帯の挨拶に駆けつけた国民民主党の小川副代表(札幌市議会議員)は、「高プロは、労働者の賃金を抑制し、企業の生産性を上げていくものであり、働く者の改革にはなっていない。」「働き方改革関連法案はわずか30時間程度という短い審議時間で採決となった。」と法案の問題点について述べた。

また、立憲民主党の市橋幹事長(北海道議会議員)は、「5年数カ月に及ぶ安倍政権は、この間の重要法案を殆ど強行採決で決している。政権は、国民が何を望み、国民の意思はどこにあるのか全く理解していない。」「年収や対象職種に制限はあるものの、この制限が徐々に下げられていくのは明白である。」と法案の危険性を述べ、「高プロは、働く者にとっては、極めて厳しい内容であることを示しながら、廃案に向けて野党が力を合わせ、闘いを進めていく覚悟である。」と廃案への強い決意を述べた。

最後に連合北海道石狩地協の太田会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、高プロ削除を求めて闘い続けることを確認した。



強行採決に抗議する連合北海道の出村会長



強行採決に抗議する出村会長(左から)、市橋幹事長、小川副代表、太田会長



集会には約160名が参加

### 働き方改革関連法の強行採決に抗議する緊急街頭集会

日時 : 5月29日(火)18:00~【終了後、デモ行進あり】

場所 : 札幌市「大通り西4丁目」(駅前通り)